

1 改訂に至る経緯

教育委員会では、昭和59年3月に福祉読本「あおぞら」を中野区福祉団体連合会や東京都立中野特別支援学校等の協力を得て作成し、毎年度、小学校第5学年の全児童に配布し、各校において、社会科や総合的な学習の時間等の学習で活用してきた。

本福祉読本は、平成18年に改訂した後は、施設等の名称変更など内容の一部変更をしながら使用してきたが、記載内容や掲載資料については、現在の社会情勢や児童の学習内容とのずれも生じてきているところである。

2 改訂のねらい

○現在の社会情勢や学校教育に合った内容に改善する。

○児童の調べ学習に資する内容及び媒体とすることで学習活動の充実を図る。

※新学習指導要領における「主体的・対話的で深い学び」に役立つ教材とする。

3 装丁

○デジタル教材とし、各校の指導者用端末及び学習者用タブレット端末から閲覧できるようにする。

○ホームページと同様な構成とし、児童が円滑に調べ学習ができるようにする。

【例】 (1) トップページ



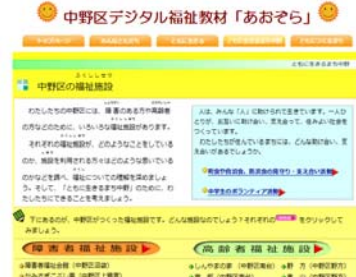
(2) 学習ページ① [1 みんなともだち]



(3) 学習ページ② [2 ともに生きる]



(4) 学習ページ③ [3 ともに生きるまち中野]



4 内容

(1) みんなともだち

：福祉とは、中野区の特別支援教育、中野区の特別支援学級、特別支援教育の学習活動 等

(2) ともに生きる

：障害者差別解消法とわたしたち、目の不自由な人と生きる、ともに生きる図書の紹介 等

(3) ともに生きるまち中野

：中野区の福祉施設、障害者福祉施設、すこやか福祉センター、中野ボランティアセンター、気付いてほしいこの設備・マーク！ 等

(4) ともにつくるまち

：オリンピック・パラリンピック教育の意義、オリンピック・パラリンピック教育実践校、「東京2020オリンピック・パラリンピック」とともにつくるまち中野（再開発） 等

5 協力団体

(1) 外部団体

東京都立中野特別支援学校、中野区社会福祉法人、中野区社会福祉協議会、中野区福祉団体連合会

(2) 庁内部署

区立小・中学校、区内各福祉施設、健康福祉部、地域支えあい推進室、都市政策推進室、子ども教育部

6 今後の予定

平成30年9月 定例校長会にて活用について周知
全小学校におけるの活用開始